

会社案内

Tokyo Monorail 



ごあいさつ

(Message from the President)

平素から東京モノレールをご利用いただきましてありがとうございます。

都心と羽田空港を結ぶ東京モノレールは、東京オリンピック開幕を目前に控えた1964(昭和39)年9月、跨座式モノレールとしては世界初の都市交通機関として開業しました。以来、多くのお客さま、地域社会の皆さまのご支援を賜り、2024(令和6)年9月には開業60周年を迎えます。

東京モノレールの最高速度は国内最速の時速80km、モノレール浜松町駅～羽田空港第2ターミナル駅間を最速18分(空港快速)で結んでおり、羽田空港への足としてご利用いただいております。また、沿線には企業や魅力あふれるスポットが多くあり、通勤やレジャーのお客さまにも多くご利用いただいております。

東京モノレールでは、「東京モノレールシアター」と題するブランディングの取り組みを行っています。移動手段としての価値だけでなく、満足や感動をお客さまに味わっていただけるよう「東京モノレールにしかない価値」に磨きをかけます。

社員全員がシアターを運営する担い手として、日々の安全で安心、快適な列車の運行、ホスピタリティあふれるお客さまへのサービス、モノレール特有の楽しさ、面白さ、非日常感など、東京モノレールの魅力を進化させていきます。

私たちは、モノレール事業のパイオニアとしての誇りと責任を自覚し、より高品質な輸送商品をお客さまにお届けしてまいります。



東京モノレール株式会社 代表取締役社長

照井英之

企業理念と行動指針

(Corporate Philosophy & Behavioral Guidelines)

企業理念

私たちは、社員一人ひとりが光り輝きながら、
モノレール事業のパイオニアとしての誇りと責任とを自覚し、
安心してご利用いただける、
より高品質の商品をお客さまにお届けすることをおして、
未来に向かって羽ばたきます。

行動指針

I. 安全

お客さまに安心してご利用いただくために安全へのたゆまざる進歩を続けます

II. サービス

お客さま視点に立ち、より高品質な商品の提供に能動的に取り組めます

III. 技術

モノレール事業のパイオニアとして進化を続けるための技術を研ぎ澄ませます

IV. 地域

沿線のまちづくりを通じて付加価値を高め、地域とともに発展します

V. 人材・風土・強固な経営基盤

社員が働き甲斐を持ち、無限の可能性に向けて未来を切り拓く会社となります



東京モノレールシアター

(Tokyo Monorail Theater)

お客さまに選ばれる存在になるために私たちは「東京モノレールにしかない価値」に磨きをかけます



Tokyo Monorail Theater

東京モノレールは、羽田空港への唯一のアクセス路線として1964年に開業し、これまでに20億人を超えるお客さまにご利用いただけてきました。しかし、交通網の発達とともにお客さまの移動手段の多様化が進み、今後、当社を取り巻く競争環境はさらに劇的かつ急速に変化します。この先の50年、100年も当社が社会的信頼を得て、お客さまや地域社会から選ばれ続けるために「東京モノレールシアター」をブランドコ

ンセプトに「東京モノレールにしかない価値にさらに磨きをかけること」に取り組んでいます。お客さまに単なる移動では味わうことができない「満足」や「感動」を感じていただけるよう、お客さまは観客、社員はキャストやスタッフ、車両や駅舎は舞台として、この一本一本を「シアター」と見立て、お客さまとともに「乗るたびにドラマがある」舞台を創り上げてまいります。

[ブランドコンセプトワード]

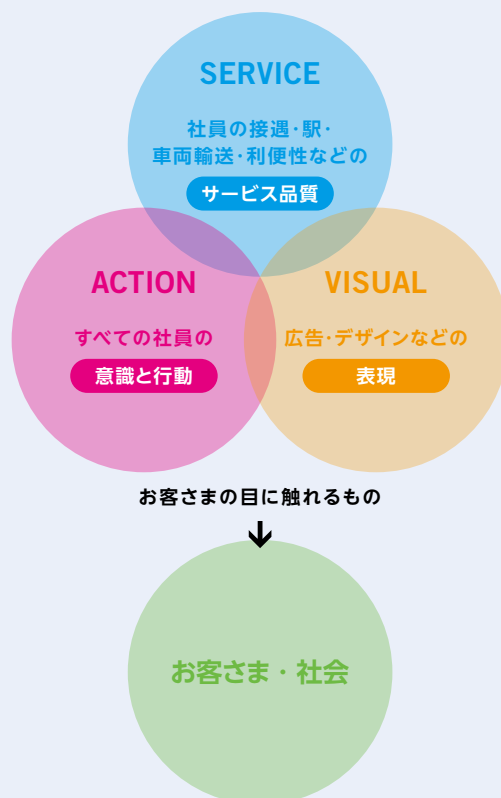
東京モノレールシアター



活動の軸となる考え方でお客さまには見えないもの

[ブランドメッセージ]

乗るたびにドラマがある。



会社概要と運転概要

(Company Profile & Operation Summary)

会社概要

商号	東京モノレール株式会社 [英文名称 : Tokyo Monorail Co.,Ltd.]
本社所在地	〒105-5110 東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービルディング南館10階
設立	1959年8月7日
開業	1964年9月17日
資本金	1億円
代表者	代表取締役社長 照井 英之
従業員	303名 (2024年3月現在)

運転概要

	平日	土曜・休日
営業キロ	17.8km (モノレール浜松町～羽田空港第2ターミナル)	
最高速度	80km/h	
表定速度	普通 44.5km/h・区間快速 50.9km/h・空港快速 56.5km/h	
運転時分	普通 24分・区間快速 21分・空港快速 18分	
編成両数	6両	
保有車両数	120両	
運転時隔	朝通勤時間帯	4分
	昼間帯	5分
	夕通勤時間帯	5分
列車運転本数	429本 (内快速 121本)	405本 (内快速 153本)
車両運用本数	朝通勤時間帯	6両連結×14本
	昼間帯	6両連結×11本
	夕通勤時間帯	6両連結×11本
列車キロ	7,529.4km	7,137.4km
車両キロ	45,176.4km	42,824.4km
輸送力	ピーク(1時間片道)	8,700人
	終日	248,820人

(2024年3月現在)

東京モノレールシンボルマーク

“Monorail” に由来する「M」と「O」による構成です。

鋭角に尖ったブルーの「M」は上昇を意味しており、会社の飛躍、航空便との親和性やモノレールならびに青空を表現。グリーン色の「O」は、モノレールと山手線の一体感をイメージし沿線の水辺の緑地を表現しています。「HANEDA」は、羽田空港と一体となった交通機関であることを示しています。



東京モノレールの歴史

(History of Tokyo Monorail)

東京モノレールは1964年の東京オリンピックに備え、羽田空港と都心を結ぶ交通機関として1964年9月17日に営業を開始。これからも東京モノレールは新時代に向けて走り続けます。

1964年 9月

モノレール羽田線 営業開始

1974年 9月

開業 10周年

1984年 9月

開業 20周年

1994年 9月

開業 30周年

2004年 9月

開業 40周年

2014年 9月

開業 50周年

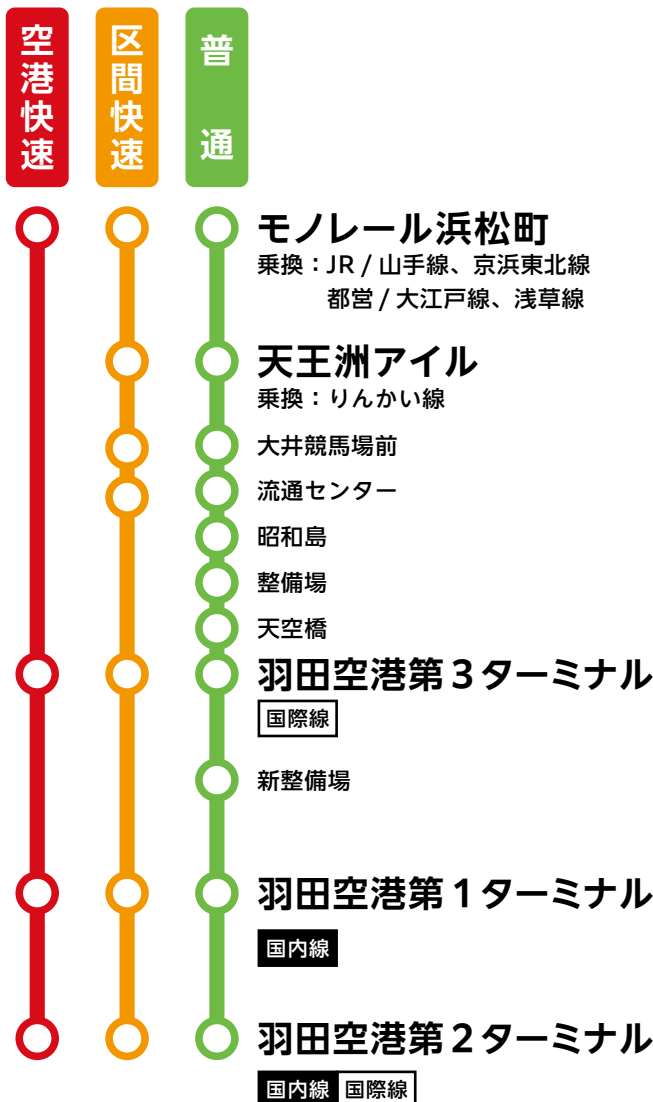
2024年 9月

開業 60周年

- 1959年 8月 大和観光株式会社設立
- 1960年
- 1960年 6月 日本高架電鉄株式会社に社名変更
- 1961年 1月 跨座式モノレールによる路線免許を申請
- 1964年 5月 東京モノレール株式会社に社名変更
- 1965年 5月 大井競馬場前駅開業
- 1967年 3月 羽田整備場駅開業
(1993年9月整備場駅と改称)
- 1967年 11月 日立運輸東京モノレール株式会社に社名変更
- 1969年 12月 新平和島駅開業
(1972年1月流通センター駅と改称)
- 1970年
- 1980年
- 1981年 5月 東京モノレール株式会社として新発足
- 1985年 2月 昭和島駅開業
- 1987年 9月 乗客5億人に達する
- 1990年
- 1992年 6月 天王洲アイル駅開業
- 1993年 9月 羽田駅(1998年11月天空橋駅と改称)、
新整備場駅、羽田空港駅開業
(2004年12月羽田空港第1ビル駅、
2020年3月羽田空港第1ターミナル駅と改称)
- 1997年 6月 乗客10億人に達する
- 2000年
- 2002年 2月 経営権が株式会社日立物流から
東日本旅客鉄道株式会社に移転
4月 モノレールSuica利用開始
8月 全駅でホームドア使用開始
9月 ワンマン運転開始
- 2004年 12月 羽田空港第2ビル駅開業
(2020年3月羽田空港第2ターミナル駅と改称)
- 2007年 1月 乗客15億人に達する
- 2007年 3月 昭和島駅待避線使用開始、
「空港快速」と「区間快速」を運行開始
- 2010年
- 2010年 10月 羽田空港国際線ビル駅開業
(2020年3月羽田空港第3ターミナル駅と改称)、
路線名を東京モノレール羽田空港線に変更
- 2017年 11月 乗客20億人に達する
- 2020年
- 2020年 9月 日本ホッケー協会と「オフィシャル
社会共創パートナー契約」を締結
- 2023年 8月 東日本旅客鉄道株式会社の完全子会社化
- 2024年 4月 旅客運賃を改定
(消費税率の加算を除くと25年ぶり)

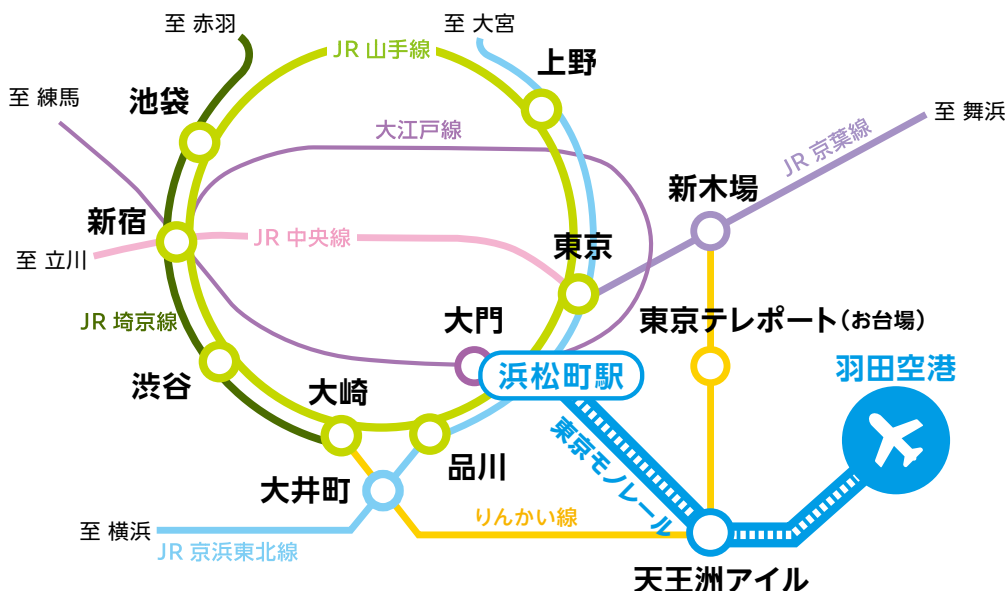
路線・所要時間

(Route & Travel Time)



種別	空港快速		普通	
	下り	上り	下り	上り
羽田空港 第3ターミナル駅	13分	13分	17分	17分
羽田空港 第1ターミナル駅	16分	17分	22分	22分
羽田空港 第2ターミナル駅	18分	19分	24分	24分

空港快速なら
モノレール浜松町駅～
羽田空港へ
最短13分!



駅概要

(Station Overview)



MO 01

モノレール浜松町駅

JR山手線・京浜東北線、都営地下鉄大江戸線・浅草線と接続しています。また、付近には竹芝栈橋や日の出栈橋があり、交通の結節点となっています。



MO 02

天王洲アイル駅

高層のオフィスビルをはじめ劇場・住宅複合ビル・公園などがあります。現在は「アートの島」としても有名です。りんかい線と接続しています。



MO 03

大井競馬場前駅

大井競馬場や、大井ふ頭中央海浜公園をはじめとしたレジャースポットが整備されています。近年は、大井競馬場の「東京メギルミ」も人気です。



MO 04

流通センター駅

首都圏城南地区の流通・物流拠点としてトラックターミナルや倉庫団地が整然と立ち並んでいます。



MO 05

昭和島駅

東京モノレールの心臓部となる昭和島車両基地があり、車両整備工場、線路の保守点検整備を行う施設部門などが配置されています。



MO 06

整備場駅

航空機の安全を守る整備工場地域。各施設への通勤などへの利便を図るために開設されました。



MO 07

天空橋駅

多彩な日本文化の発信拠点として話題のHANEDA INNOVATION CITYと直結しています。京急線と接続しています。



MO 08

羽田空港第3ターミナル駅

羽田空港第3旅客ターミナルビルに直結し、改札口から出発ロビーまではわずか1分！段差のないスムーズな移動が可能です。



MO 09

新整備場駅

各航空会社の整備地区の最寄り駅です。駅出入口付近は、間近で飛行機を眺められる隠れスポットとなっています。



MO 10

羽田空港第1ターミナル駅

羽田空港第1旅客ターミナルビルの地下1階に直結しています。ターミナルビルには、様々なレストランやショップ等があり、旅行目的以外でも楽しむことができます。



MO 11

羽田空港第2ターミナル駅

羽田空港第2旅客ターミナルビルの地下1階に直結しています。2023年7月からは、国際線も運航されるようになり、さらに便利になりました。

安全の取組み 1

(Safety Initiatives 1)

お客さまの安全を守る設備

→ 可動式安全柵（ホームドア）と可動ステップ

お客さまのホームからの転落や列車との接触事故を防止するため、全駅にホームドアを設置しています。また、列車とホームの幅が広い駅には可動ステップを設置しています。



全駅にホームドアを設置しています



隙間への足の踏み外しや転落を防止する可動ステップ

異常時の設備

→ 脱出シューターとブリッジ

駅間で車両が走行不能になった場合の救出手段として、非常用脱出シューターを全列車へ搭載、また、車両に横付け、縦付けして救済するブリッジも導入しています。



定期的に訓練を行っています



車椅子に乗ったまま移乗できる横取りブリッジ

安全・安定輸送を支える技術

→ シーサス転てつ器

モノレールの転てつ器(ポイント)は、軌道桁を転換させ、上り線・下り線の入れ替えを行うものです。シーサス転てつ器は中央回転桁との組み合わせにより、両渡りの交差を可能としました。通過速度の向上や転換時間の短縮、常時監視システムの導入など、数々の新技術を導入した転てつ器の集大成ともいえるものです。



改良と更新が行われてきた“安全輸送の要”

安全の取組み 2

(Safety Initiatives 2)

安全・安定輸送を守る日々の取組み

→ 軌道設備管理

お客さまに安心してご利用いただくため、日々、軌道の点検・保守・巡視を行っています。モノレールの軌道は、海上部に建設されているものも多く、陸上だけでなく、海上からも細心の注意を払い実施しています。



工作車を使用した軌道設備の点検

→ 車両保守・整備

安全かつ快適な車両を維持するため、日常的な点検から、車両の各機器を分解して整備するものまで、様々な検査を実施しています。



8年を超えない期間ごとに行う全般検査の様子

安全・確保のための備え

→ 異常時総合訓練・初動対応訓練等の実施

事象発生初期の連携やお客さまへの適切かつ迅速な情報共有のための初動対応訓練や、営業列車終了後、営業線で実際の車両を使用して、本番さながらに一連の流れで訓練する異常時総合訓練など、大規模な自然災害や重大事故を想定し、全社的な訓練を実施しています。その他、各分野において日常的に訓練を実施し、異常時に備えています。



トンネル内での避難誘導訓練

安全・安定輸送を守る設備の更新

→ 耐震補強工事の実施

当社では、阪神淡路大震災後から耐震補強工事を実施しており、今後も構造物・建物について、耐震補強工事や落橋防止対策を実施していきます。また、車両に電源を供給するための電車線や、変電所等の設備についても更新を進めています。



耐震補強工事を実施した支柱

サービスの取組み

(Service Initiatives)

羽田空港をご利用のお客さまへ快適な旅をサポート

〔羽田空港第1ターミナル駅、第2ターミナル駅〕

空港旅客ターミナルビルの地下1階に直結しており、航空会社の出発ロビーや到着ロビーにダイレクトにアクセスが可能です。



羽田空港第1ターミナル駅



羽田空港第2ターミナル駅

〔羽田空港第3ターミナル駅〕

空港旅客ターミナルビルに直結しており、改札口から出発ロビーまではわずか1分と利便性の高い駅です。また、デポジット不要な短期滞在者用の Suica「Welcome Suica」の券売機や訪日外国人向けのパスの発売・引き換え・ご案内等を行う「JR 東日本駅たびコンシェルジュ」など海外からのお客さまに快適にご利用いただくための設備も整えております。



羽田空港第3ターミナル駅3階改札口



羽田空港第3ターミナル駅2階改札口

多様な設備で様々なお客さまをサポート

海外からのお客さまや、視覚・聴覚に障害をお持ちのお客さまにも安心してご利用いただけるよう、各駅にデジタルサイネージを設置しているほか、タブレット端末も配備し、お客さまの案内に備えています。また、大きな荷物をお持ちのお客さま向けに、車内には荷物置き場を設置し、快適な移動をサポートしています。



各駅に設置したデジタルサイネージ



車内に設置した荷物置き場

浜松町駅西口地区開発事業

(Hamamatsuchō Station West Exit Area Development Project)

西口地区の再開発に伴う モノレール浜松町駅の再生と交通結節点機能の強化



モノレール浜松町駅外観

浜松町駅西口地区の開発事業に伴い、モノレール浜松町駅の建替工事を実施しています。新駅3階の中央部に歩行者広場を整備、開発ビル内のステーションコア（視認性の高いエスカレーター・階段による縦動線）と接続し、他の交通機関との乗換利便性を飛躍的に向上させます。歩行者デッキや自由通路とともに駅周辺の広域的な歩行者ネットワークを形成します。

また、開発事業では、当初、「交通結節機能強化」と「国際交流拠点形成」「防災機能強化と環境負荷低減」を都市再生への貢献として計画しておりましたが（2013年3月都市計画告示）、インバウンド増加等の社会情勢の変化に対応するため、ホテル建設を含む観光拠点の形成等をさらなる貢献として加え（2021年11月都市計画変更告示）、延床面積約41万㎡に及ぶ壮大なスケールのビジネスセンターの創出、陸・海・空の交通結節点である浜松町にふさわしいまちづくりを進めております。



西口開発事業外観



3階中央歩行者広場



3階改札内コンコース



5階ホーム北側



東京モノレール株式会社
Tokyo Monorail Co.,Ltd.

〒105-5110 東京都港区浜松町二丁目4番1号
世界貿易センタービルディング南館10階